



学校紹介 大垣市の子もたちが、学校で元気に学んでいます

江東小学校 華道体験【6月25日】



5年生が総合的な学習の時間「日本の伝統文化」で、「華道体験」を行いました。3人のボランティアの先生に指導をいただきながら、オリジナルの作品を作成しました。葉を曲げたり、花の茎を切ったりと一人ひとり考えながら花器に作品を生み出しました。



安井小学校 大垣ミナソフトボールチームによる授業【7月9日】

6年生が、大垣ミナソフトボールチームの皆さんと一緒にソフトボールの授業を行いました。ティッピングやボールを使っての体ほくしなど皆で楽しく活動することができました。子どもたちの元気な声が体育館に響きわたっていました。



牧田小学校 オレゴン州の高校生との交流【6月24日】



毎年、オレゴン州の高校生の皆さんと交流を行っています。全校で英語の紙芝居と一緒に観たり、ゲームをしたりしてリラックスしたあと、「書道」「昔の遊び」「牧田クイズ」など、子どもたちが考えて準備した活動と一緒にを行いました。また、給食と一緒に食べる中で、お互いの食文化の違いを交流する場面もありました。来年もまた、会えることを楽しみにしています。



大垣市教育委員会

〒503-0888 大垣市丸の内2丁目55
TEL(0584)47-8022(直通) FAX(0584)82-6385
Email: kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

みんなで築こう人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認めよう心～

ふれあい 学びあい 深めあう 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ vol.13

発刊
令和元年
10月



市長と「教育振興基本計画」について意見交換をしました!



市長と教育委員会は、教育についての施策などを協議する総合教育会議を7月24日に開催し、今年度策定する「大垣市第2次教育振興基本計画」の施策について意見交換しました。

会議の中では、「グローバルでクリエイティブな人を育てるような教育環境の充実が大切」、「いろいろなことを吸収できる時期である子どもたちに質の高い音楽や芸術に触れる機会を1つでも多くつくって欲しい」、「地域とのかかわりの大切さを教えて、地域活動の担い手を育てることが重要」、

「スポーツを支える担い手作りが必要」といった人づくりに関する意見が多くありました。

今回の意見を参考に計画づくりを進め、今後は、策定委員会やパブリックコメントを経て、3月に計画策定する予定です。



「江東小学校」へ学校訪問を行いました!

教育に関する課題や学校の現状を把握するため、6月26日に教育委員が江東小学校を訪問し授業を参観しました。

4年3組の総合的な学習の時間では、地域の江東民俗資料保存会の方々を講師にむかえ、校内にある「江東民俗資料館」の農耕具を使用した、堀田(※)特有の農具の使い方を体験する授業が行われました。

また、6年3組の体育では、基礎体力向上のため、学校独自の「江東体操」を取り入れた授業が行われました。

委員からは、「見る、触るなど、体験しながら学ぶことはとても大切」などの意見がありました。今後も、授業の様子や施設の見学を行い、教育行政の充実に活かしていきます。



※堀田とは、輪中などの低湿地の稲作農法。湿地の一部の土地を掘って、積み重ねることで幾分高い耕地を作り、そこに稲を植えるようにしたもの。江戸時代中期から始まり、昭和40年代以降、土地改良により姿を消した。



俳句 夏井いつき先生と句会ライブ

「ふるさと大垣科」が5年目を迎えました。小学校1年生から中学校3年生まで俳句の学習が定着し、「俳句のまち大垣」の裾野が広がりを見せています。

平成19年度からは、俳人夏井いつきさんを講師に迎え、俳句の魅力や俳句の作り方の楽しさを味わう「学校句会ライブ」も開催されています。今年度は、静里小学校、川並小学校で開催され、日常のつづやきを俳句の種とし、それに季語を合わせて俳句をつくる面白さを、全校児童が体験しました。この句会ライブ後半では、入選句の紹介がありますが、作者の子どもが、大きな拍手で祝福される場面は、句会ライブの醍醐味とも言えます。両校ともに、仲間の喜びを皆で共有し、会場全体が、優しく温かい雰囲気になっていました。

また、今年度からは、大垣市内の教員を対象にした「教員向け句会ライブ」(大垣プラン)も始まりました。俳句の指導者を養成する全国初の試みでもあります。約80人の参加者は、俳句作りの技だけでなく、俳句を読み解く過程で生まれる教育的効果についても学びました。

夏井さんは、「俳句は、語彙力を高め、言語感覚を磨く」と語られました。ご家庭でも、身近な出来事を句に詠んでみませんか。



夏井いつき先生 おすすめ! 「取り合わせ」の技をご紹介します

①「俳句の種」をつぶやいてみる

先生と50m競走したら、1秒負けてしまったあと少しで勝てそうだった

②「俳句の種」を12音にする

先生とかけっこしたよ
先生とかけっこ負けた
先生にいつか勝ちたい

③「俳句の種」に合う五音の季語をつける

先生にいつか勝ちたい秋の星
天高し先生にあと秒だ
先生とかけっこしたよ秋の空

季語はあともいいんだね



同じエピソードでも、季語が変わると印象が変わってきます。コツは、季語から考えるのではなく、「俳句の種」をつぶやいてみることから始めることです。

年間を通じて投句のできる十六万市民投句

大垣市では、「十六万市民投句」を募集しています。日々の暮らしの発見や感動、旅の思い出など、あなたの一句をお待ちしています。

〈投句方法〉 奥の細道むすびの地記念館、地区センターなど市内40か所の投句箱へ

<https://www.ginet.or.jp/haiku/k/> 十六万市民投句 検索

俳句作りに迷ったら、奥の細道むすびの地記念館の俳句指導員までお気軽にご相談ください。

奥の細道むすびの地記念館 ☎84-8430



文化 市指定重要文化財(建造物)「旧清水家住宅」

旧清水家住宅は中山道赤坂宿のほぼ中央に位置する古い商家の建物です。主屋は軒高の低い切妻造り2階建てで、建造年代は定かではありませんが、享保15年(1730)もしくは安永4年(1775)と伝えられています。

また、坪庭の北には明治13年建造の墨書が残る土蔵があります。旧清水家住宅は、赤坂宿内に現存する建造物の中でも最古級の町家遺構であり、様式や技法の観点からも文化的価値が高いものとして、平成25年(2013)に大垣市重要文化財に指定されました。

平成24年(2012)に所有者から土地・建物とともに大垣市に寄贈された後、平成26年度から29年度まで市が改修工事が行い、現在は建物を文化財として保存するとともに、一般に公開し、住民等によるまちづくり活動の拠点施設としても活用されています。

土曜・日曜・祝日のみ、午前9時から午後5時まで無料で開館しています。

11月3日には中山道赤坂宿まつりも開催されますので、ぜひ一度見学にお越しください。



土蔵



主屋内部



給食 給食センターから、秋便り

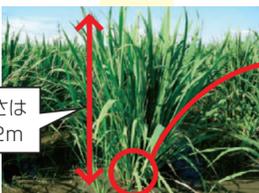
最近、食べ物の好き嫌いが多い子どもが増える傾向にあります。給食センターでは、子どもたちが美味しく食べられるよう、味付けにも十分に配慮しながら給食を作っています。健康で丈夫な体をつくるために、好き嫌いなく、よく噛んで食べることが大切です。

また、栄養のバランスのとれた献立で、子どもたちの健康と成長を支えるだけでなく、四季が感じられる旬の食材や行事食、地域の食材や郷土料理等を積極的に取り入れています。

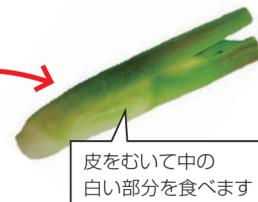
今月は、地元で収穫された「まこもたけ」を使った汁物が登場します。ぜひ、ご家庭でも地元で収穫された食材を食べてみてください。

【大垣五目汁(まこもたけ入り)】

【まこもたけ】



高さは約2m



皮をむいて中の白い部分を食べます

